

わたしたちは、信頼と希望と愛の輪で社会をつなぎます



SSKP

いずみ

No.

158

2010年9月

* 社会福祉法人 泉会 *

法人本部
泉の家〒157-0076 世田谷区岡本2丁目33番23号
☎03(3417)3451(代) ☎03(3417)3463
izumi@izumikai.jp
http://izumikai.jp/izumi/

日の出舎

〒190-0182 西多摩郡日の出町平井3030番
☎042(597)1451(代) ☎042(597)2205
info@hinodesha.org
http://hinodesha.org/岡本福祉
作業ホーム〒157-0076 世田谷区岡本2丁目33番24号
☎03(3415)3366(代) ☎03(3415)4976
okamoto@izumikai.jp
http://izumikai.jp/okamoto/岡本ホーム
玉堤分場〒158-0087 世田谷区玉堤2丁目3番1号
☎03(5707)9431(代) ☎03(5707)9433
tamatumi@izumikai.jp
http://izumikai.jp/tamatumi/グループホーム
いずみ〒197-0825 あきる野市雨間322-12
☎☎042(550)9083
bwz12948@nifty.com一九七七年十二月三日第三種郵便物認可(毎月一、二、三、五、六、七の日十八回発行)
二〇一〇年八月十九日発行(S S K P 通巻四五二二号)

● 本年の聖句

主は、従う人に目を注ぎ

助けを求める叫びに耳を傾けてくださる。

主は、助けを求める人の叫びを聞き

苦難から常に彼らを助け出される。

主は、打ち砕かれた心に近くいまし

悔いる霊を救ってくださる。(詩篇34章16、19節)



天気の良い日はテラスでコーヒーを。(泉の家)



福祉にほほえみを

理事長 橋向敏治

聴く力は『察する能力』に通じます。相手の気持ち・状況を察することが、コミュニケーションの基礎になっています。相手が自分に伝えたい情報を聴きとる力は、マニュアル対応では向上しないと思います。相手の顔をまともに見ることなく相手の話の微妙なニュアンスを聴き取ることは難しい。話す時の明るい表情や優しい仕草が、言葉以上に大切な要素を占めます。察することにより互いに信頼関係が生まれると思います。福祉サービスの第一は対話により相手のニーズを聴き取りその要望に添えることではないでしょうか。

泉の家の開所式を本年3月27日に迎えました。長年の希望であります『日の出舎』の建築について7月9日付東京都より建築許可の内示を頂き、職員一同感激しております。心を新たに引き続きこの大事業に取り組み、無事故無災害で2011年秋頃に『日の出舎』の施設の完成を待ち望んでいます。

建物が新しくなること以上に、人の命の尊さを知ることで、お互いに微笑みを持って接していただける様な施設を建設したいものです。

皆様のご支援の賜物により、長年の夢が正に実現しようとしています。今後とも皆様のご協力をお願い申し上げます。

二〇〇九年度事業報告

(2)

いずみ No.158

貸借対照表（法人合計）

資産の部			負債の部		
摘要	内訳	合計	摘要	内訳	合計
流動資産		217,753,292 (3,544,954増)	流動負債		33,815,974
現金預金	185,262,394		買掛金	12,705	
売掛金	481,537		未払金	18,284,593	
商品・製品	749,604		預り金	125,843	
原材料	108,822		仮受金	0	
未収金	28,778,019		賞与引当金	15,392,833	
立替金	15,030		固定負債		59,222,950
前払金	2,357,886		設備資金借入金	40,000,000	
その他の流動資産	0		退職給与引当金	19,222,950	
			他の固定負債	0	
固定資産		779,409,479 (252,398,695増)	負債の部合計		93,038,924 (27,789,324増)
基本財産	399,097,423		純資産の部		
建物	353,970,483		基本金		167,037,230
泉の家	273,538,917		国庫補助金等特別積立金		289,639,508
日の出舎	80,431,566		その他の積立金		268,508,404
土地	45,126,940		移行時特別積立金	69,652,934	
泉の家	5,050,500		授産移行時特別積立金	1,145,000	
日の出舎	40,076,440		その他の積立金	197,710,470	
他の固定資産	380,312,056		建設積立金	28,915,560	
建物	25,184,338		施設整備積立金	168,794,910	
構築物	22,221,892				
機械及び装置	1,705,153		次期繰越活動収支差額		178,938,705
車両運搬具	5,515,780		次期繰越活動収支差額	178,938,705	
器具及び備品	34,900,132		(うち当期活動収支差額)	△ 13,683,290	
建設仮勘定	0		純資産の部合計		904,123,847 (228,154,322増)
権利	253,208		負債純資金合計		997,162,771 (41,556,053増)
移行時特別積立金	70,797,934				
その他積立預金	197,710,470				
他の固定資産	22,023,149				
資産の部合計		997,162,771 (255,943,646増)			

脚注

	当年度末	前年度末
減価償却費の累計額	270,384,062円	429,051,129円

昨年、サービスの質の向上を目指し、職員の処遇改善や、法人内の人事管理トータルシステムの再構築に取り組みました。事業を目的とし、以下のように取り組みました。

- 1 泉の家建替えを、関係各機関及び地元自治会や友の会など関係者のご支援により、実現することができました。
- 2 日の出舎建替えは、日の出町、地元自治会のご協力の下「平成22年度障害者施設整備事業計画」と「社会福祉施設等耐震化等臨時特別基金による特別対策事業」に申請いたしました。
- 3 グループホームいずみは、オーナーなどの協力の下、避難訓練の定期実施等、安全・安心に暮らせるホームの構築を図りました。
- 4 岡本ホーム・玉堤分場は、指定管理継続更新となるよう地域障がい者ニーズに対応しました。
- 5 法人事務局の再構築に向けた取り組みを行いました。
- 6 月次報告を活用し、各施設の事業進捗状況を毎月施設協議会で発表し、経営の健全化に努めました。
- 7 経営ビジョンについて、の新人研修を実施し、法人職員人材育成に努めました。
- 8 「障害者自立支援法」による事業変更と推進に努めました。
- 9 法人経営体力の強化に努めました。友の会や篤志家からの寄付を建設積立金や一般付金としました。

昨年は、経営状態を示す指標も適正値を示しました。引き続き健全な経営ができるよう努めて参ります。

※岡本ホーム工賃支給対象数9名（就労移行0名、継続B9名）

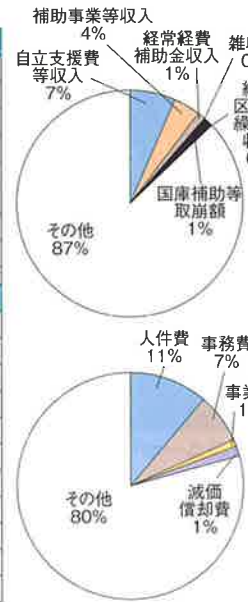
就労支援事業報告

	泉の家	日の出舎	岡本ホーム	玉堤分場
就労支援事業収入	2,729,948	10,464,059	1,495,861	3,271,128
就労支援事業支出	2,729,948	10,464,059	1,495,861	3,271,128
うち利用者工賃	1,180,065	7,496,782	983,522	2,294,629
うち当期材料費	1,345,760	1,058,971	486,654	637,013
うちその他の経費	201,028	1,908,306	37,385	330,336
利用者入所	0名	50.8名	0名	0名
利用者通所	10.8名	22.6名	39.0名	11.4名
利用者計	10.8名	73.4名	39.0名	11.4名
平均工賃月額	9,123円	8,697円	9,107円	16,034円
平均年齢	55.0歳	55.8歳	35.3歳	51.6歳
職員数(常勤換算)	11.41名	22.05名	16.4名	6.8名
前年度配置数	7.83名	19.36名	15.5名	7.3名

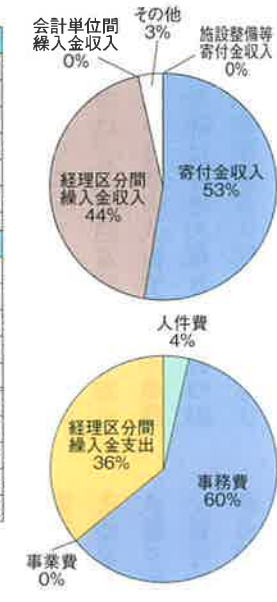
(3)

いずみ No.158

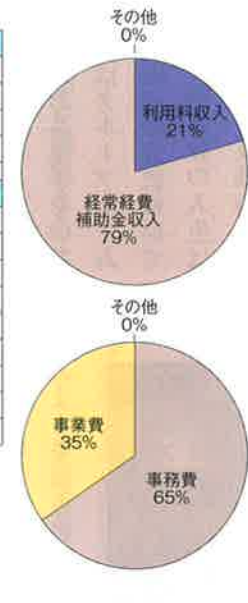
泉の家（合算）	
収入	(単位千円)
自立支援費等収入	20,646
補助事業等収入	12,244
経常経費補助金収入	3,416
雑収入	377
国庫補助等取崩額	4,089
経理区分間繰入金収入	0
その他	275,154
計	315,926
支出	
人件費	43,717
事務費	27,520
事業費	3,806
減価償却費	5,494
その他	307,112
計	387,649
当期活動収支差額	△ 71,723
前期繰越収支差額	60,099
当期末繰越収支差額	△ 11,623
その他の積立金積立額	41,715
次期繰越活動収支差額	3,009



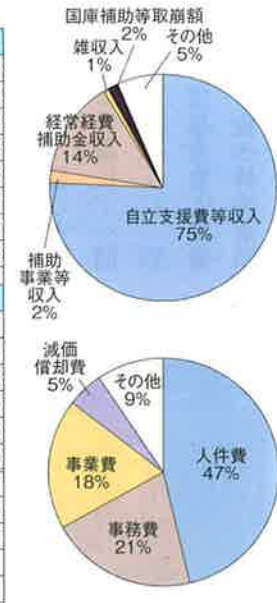
本部	
収入	(単位千円)
施設整備等寄付金収入	0
寄付金収入	15,294
経理区分間繰入金収入	12,728
会計単位間繰入金収入	0
その他	1,007
計	29,029
支出	
人件費	287
事務費	4,854
事業費	0
経理区分間繰入金支出	2,880
計	8,021
当期活動収支差額	21,008
前期繰越収支差額	36,310
当期末繰越収支差額	57,318
その他の積立金積立額	2,879
次期繰越活動収支差額	33,998



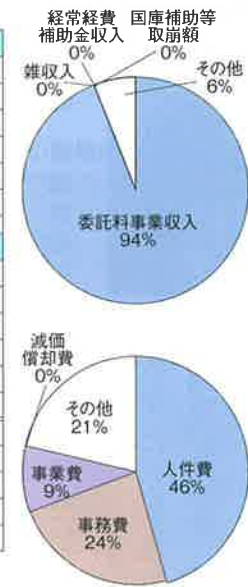
グループホームいずみ	
収入	(単位千円)
利用料収入	3,515
経常経費補助金収入	13,586
その他	1
計	17,102
支出	
事務費	11,178
事業費	5,925
その他	0
計	17,103
当期活動収支差額	0
前期繰越収支差額	250
当期末繰越収支差額	250
その他の積立金積立額	0
次期繰越活動収支差額	250



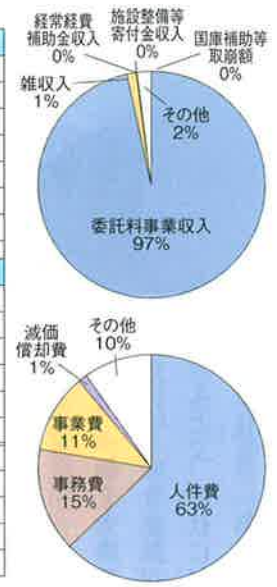
日の出舎（合算）	
収入	(単位千円)
自立支援費等収入	159,147
補助事業等収入	3,669
経常経費補助金収入	28,982
雑収入	1,443
国庫補助等取崩額	3,190
経理区分間繰入金収入	2,177
その他	11,482
計	210,090
支出	
人件費	82,151
事務費	36,874
事業費	32,638
減価償却費	9,030
その他	16,860
計	177,553
当期活動収支差額	32,537
前期繰越収支差額	77,239
当期末繰越収支差額	109,777
その他の積立金積立額	0
次期繰越活動収支差額	109,777



玉堤分場（合算）	
収入	(単位千円)
委託料事業収入	64,127
経常経費補助金収入	0
雑収入	30
国庫補助等取崩額	0
その他	3,804
計	67,961
支出	
人件費	28,866
事務費	15,069
事業費	5,630
減価償却費	254
その他	13,512
計	63,331
当期活動収支差額	4,630
前期繰越収支差額	1,002
当期末繰越収支差額	5,632
その他の積立金積立額	0
次期繰越活動収支差額	5,632



岡本ホーム（合算）	
収入	(単位千円)
委託料事業収入	112,768
経常経費補助金収入	0
雑収入	1,608
施設整備等寄付金収入	107
国庫補助等取崩額	0
その他	2,339
計	116,822
支出	
人件費	73,603
事務費	17,214
事業費	13,158
減価償却費	1,513
その他	11,470
計	116,958
当期活動収支差額	△ 136
前期繰越収支差額	△ 676
当期末繰越収支差額	△ 812
その他の積立金積立額	0
次期繰越活動収支差額	△ 812



新人向け法人理念研修

初夏の陽気となった6月12日の土曜日、今回で3回目となる新人向けの法人理念研修を日の出舎にて開催しました。

人材育成は組織の要

この研修には、法人理念を理解し、法人職員としての自覚を持つて業務に携わって欲しいとのねらいがあります。理念が制定された当初は、当時のコンサルタントの企画で、法人理念研修を全職員に実施しました。理念は、法人の核となるものです。それをきちんと理解し、業務に具現化していくことが職員には求められます。また、一同に会して、研修を受けることで一体感を持つたり、コミュニケーションが図れるという効果もあります。法人研修としては、その他にコミュニケーション技術研修も行っており、業務に効果が出ております。

泉会では、「人材」を「人財」と言い換えております。人材育成は、組織の要。今回は、その取り組みについて、ご報告を申し上げます。

対象者は岡本・玉堤が4名、日の出舎が2名の計6名。まずは「グループホーム いずみ」へ。土日の行楽渋滞にはまってしまう、あきる野インターに下りた時は、すでに約束の時間を30分以上過ぎていました。

にもかかわらず、管理をされている細谷さん利用者の皆さんは、笑顔で迎えてくださり、お茶菓子を用意しながら、まずはグループホームの成り立ちや、現在の状況について説明を受けました。「自分の人生は自分で設計する」という支援方針にはブレがなく、そのことが利用者にとつての安心安定につながっていることが参加者全員によく伝わってきました。グループホームは明るく、いい風が入ってきてとても居心地が良く、利用者の皆さんも寛いだ様子。居室も見せていただき、利用者の「ここにずっといたい」という言葉と、細谷さんの「そのためには、将来のことも考えながら、暮らすことが必要よね」という言葉に、一同大きくうなづきました。

近くのレストランで昼食をとりながら簡単に自己紹介。食べ終わる頃

には少し緊張もほぐれ、エネルギーを充填し、日の出舎に向けて、出発しました。

日の出舎到着後、小山課長に、舎内を隅々まで案内していただき、一同、老朽化した居室、設備に時代を感じた様子でしたが、お掃除が行き届き、古いながらも、気持ちよく使えるよう整備されていて、日の出舎

職員の細やかな気配りが感じられました。

食堂での研修は、理事長が作成されたレジュメをもとに、「自立生活支援制度の基本理念」「科学的アプローチ」「社会人になるための五項目」「個性あふれる集団の七つの力」「コミュニケーションを阻む五つの本能的な心」「正義感・正論について」「仕事に幸せを感じること」について講和を聴き、その後、グループワークでディスカッションしました。

自己紹介がてら、福祉の仕事についてきつかけを全員に話してもらい、関わりを持つことができました。

その後、「和と個」について、どちらを大事にしたいかという問いかけが理事長からありました。「個を大事にしたい」という意見がほとんどで、それに対し理事長も、「職場の

理事長を前に緊張気味の新人たち



の方々」と語り合える時間を共有でき感謝です。

第二次世界大戦後、日本は戦塵の中から立ち上がり、現在に至っております。例えば、戦後日本の海運は、燃料革命により、石炭から重油への切り替えに伴う海員の技術革新の修得、そしてコスト競争のための乗組員激減など（タービンからディーゼルへ）船舶を運航して現在に至っております。

戦後始まった福祉業界も措置制度から、福祉の名を廃して、障がい者自立支援法に大きく舵を切り、少子高齢化社会を迎え、今後の障がい者総合福祉政策に向かいます。

この10年で最も大きな出来事は、福祉運営から福祉経営に切り替わったことです。経営体は、長い伝統があっても、社会に必要とされなくなった組織は消滅する運命にあります。経営は利益を生むのが目的ではなく、組織の継続を願い常に将来を展望し、善後策を講じ、利用者に生きる幸せを感じてもらえる組織体です。

新人の方々は、明るい職場作りを

みんなで明るい職場作りを目指そう！



目指し、フレッシュな感覚で大いに発言・行動を願います。」
研修終了後は、自然と言葉を交わしあい、親近感を持った様子が伺えました。そう、皆さんは「同期」です。今後も、今回の研修を生かし、業務に邁進してほしいと願っております。
（岡本福祉作業ホーム 玉堤分場 上原 絹代）

和を大事にすると、親しみは湧きやすいのだが、親分・子分の関係に陥りやすい。これからは、個性的な集団であること、同時に組織の一員として大切にされることが大事。」と答えられていました。



グループホームの見学は貴重な体験でした。

また、メンタルヘルスについても触れられ、各自にストレス解消について尋ねられました。業務上の悩みは、職場の同僚や上司に相談して解決していることや、休みの日は、趣

味を楽しんだりしているとの答え。全員が、職場を出てしまえば、気持ち切り替わっているとの答えに、理事長も安心されていました。

参加者の決意表明

最後に、参加者に各施設長からのメッセージを読み上げてもらい、各自の決意表明をしてもらいました。
・個性を持ちながら、施設の一員として、利用者のためになるよう頑張る。
・所属する事業所は、自分の専門ラインを持って人と関わる職員集団なので、それに加わるよう努力する。
・しっかりと集中して働く。

・泉会でずっと働けるよう先輩と一緒にやっていく。
・利用者からの信頼を獲得すること。

・新しい制度を理解し、利用者への接し方を学び、サービスを向上させる。

理事長からのメッセージ

理事長からもメッセージをいただいていますので、ご紹介します。

「縁あって泉会へ就職された6名

グループホーム いずみだより

はじめまして、
グループホームいずみです。

5年前の2005年10月15日あきる野市雨間の赤坂様宅の3階に開設されてから今日まで、大きな事故もなく過ごして参りました。

オーナー様の優しいお気づかいや、ご近所の皆さんからの声かけ、差し入れなどたくさん励ましをいただいています。

1階のレストランで泉会の機関誌を見たお客様が3階を見学され、「いずみ」ってあの泉会日の出舎の関係なのね、孫に産業祭で木工品を買ったけどその子も社会人よと懐かしく話されたりして、皆どこかで繋がりが生きていることを実感しました。

そして、送迎車に乗る前の歩行運動時にも顔なじみの地域の方が温かく見守ってくださり、横断歩道で車椅子を押してくださったり、いろいろな場面でも多くの方々に助けられて、私達も少しずつですが力をつけて頑張っています。
（細谷 末子）

日の出舎だより

おでかけ買物

日の出舎では毎週土曜日午前中におでかけ買物を実施しています。普段あまり外出することのない利用者の生活必需品や日用品、その他雑貨を購入するため、近くのイオンモールか東急に行っています。希望したら必ず参加できるとは限りませんが、皆さんとても楽しみにしています。買い物時、職員が付き添いますが全てをお手伝いするのではなく、利用者の方



買物を楽しまれる山本さん

にできるところはやつてもらっています。たとえば品物を置いてある場所を聞く、シャツやズボンのサイズや色を聞く等のことは利用者自身に聞いてもらっています。当然会計も利用者が行います。初めは恥ずかしくて言い出せなかったりしていますが、勇気を出して声掛けるとその後のお店では自ら進んで声を掛けるようになります。買い物が終わった後、待ち合わせも兼ねて1階のカフェコーナーで休憩をとりますが、本当は皆さんそれが一番楽しみなのかもしれません。
（高橋 洋郎）

泉の家だより

イベントの夏！

泉の家では、8月～9月にかけて大きな行事がいくつかあります。そのひとつが「世田谷区ふるさと区民まつり」です。

世田谷区のリサイクル事業の一環として、リサイクル自転車の抽選販売を行なっています。区内に放置された引き取り手の無い自転車を世田谷区が回収、その自転車を泉の家で整備して、区民の方々に抽選で販売しています。就労継続支援B型の利用者の方々が、約2ヶ月を掛けて磨き上げた自転車です。中古とは言え、どれもピカピカで、中には高額な自転車も。毎回の自転車の抽選会も多数の方に申し込んでいただき、抽選会もリサイクル事業ブースの方々の応援もあり、「お祭り」で一番！と言うぐらいの盛り上がりを見せます。

利用者の方々は、整備だけでなく、当日の抽選の受付も2日間に分かれて参加しています。実際に自分たちが手掛けた自転車を売り込んで、お客様が手にしていく様子を見て、より充実感も味わえると思います。

グループホームいずみ駐車場にて



売上金は作業工賃として利用者の方々にお渡ししています。毎年この月の工賃は通常より多いので、皆それも楽しみにしているようです。
（金子 誠）



抽せん会では、人がどっと集まります。



今年も生涯学習セミナーに参加しました。

のセミナー終了後も自発的に仲間と一緒に学習活動を継続していく事を目標としています。

その玉川生涯学習セミナーの体験活動講師として依頼があり、押し花ハガキ作りハガキ漉き教室を毎年開催してきて今年で3年となります。

初めて出張教室を開催した年の受講生の皆さんが作ったグループ「きぼう会」からたくさんの牛乳パックの寄付を頂きましたが、ハガキ漉きの材料として牛乳パックを使っていた事が今回の寄付に繋がりました。年12回の講義の1つでしか関わってはいませんが、玉堤分場の活動を覚えていて下さった事と、セミナー終了後もメ

岡本ホームだより

岡本ホームの旅行に欠かせない物



トランクルームには、車椅子が20台入ります。

ンバーの皆様と活動しているということをととても嬉しく思いました。また、玉堤分場の活動が少しずつではありますが、地域の方に知って頂けている良い機会となつていくことを実感致しました。
「きぼう会」の皆様、施設まで届けにきてくださり、誠にありがとうございます。玉堤分場利用者職員一同、願っております。
（伊達 紫瑞）



「うま〜できるかな?」
初めのお豆腐作りに挑戦

7月、梅雨の最中、二泊と日帰りの旅行に行ってきました。二泊は秩父、日帰りは沼津方面です。

岡本ホームでは通常車椅子を利用されている方が18名、外出時に利用される方は約11名です。旅行に当たって大きな課題となるのがリフト付きバスの確保です。休憩や見学の際の乗り降り、また車椅子から座席に移乗するのも時間がかり、リフト付きバスは必須となります。今年お願いした会社はリフト付き自社バスを2台保有しており、昨年の旅行後に仮で押さえていただきました。

また今年の二泊旅行の大きな特徴として宿の貸切があります。「神泉」という小学校の跡地にできた松の香る宿です。車椅子や荷物の置き場、入浴時間など一般のお客様を気にすることなくのびのびして、利用者、職員ともに気持ちのいい時間を過ごしました。
（国生 いづみ）

玉川生涯学習セミナーとの繋がり
玉川生涯学習セミナーは講義・見学・体験活動等を通して受講者同士の交流を図りながら学習し、1年間

お兄様との素敵な2ショット!



私、この度ご縁がございまして、泉会様の評議員をお引き受け致す事になりました。

私は、この地に早50数年住んでおりまして、玉堤分場様の創立以来、ずっと近隣で日頃何かと、お世話になっております。

毎日、通所される利用者の方々、



一九七七年十二月三日第三種郵便物認可(毎月一、二、三、五、六、七の日十八回発行)
二〇一〇年八月十九日発行(SSKP通巻四五二二号)

利用者さんとの信頼関係も最高です。



又お世話をなさるスタッフの方々の日々のお仕事を拝見し、ほんとうに頭の下がる思いを感じております。

私が、評議員を引き受けますに当り、大きな理由の一つに、私の兄の存在があります。

兄は障害を持っており、今現在、茨城県の老人ホームにお世話になっており、車椅子生活でございます。

私が面会にまいりますと、周りのスタッフの皆様と、明るく、楽しく

過ごしております。

兄の姿を見て、皆様方に感謝の気持ちでいっぱいになり、帰路についております。

その時、常に、いつの日か私も何か皆様のお役に立つ事を致さねばと思う気持ちで、いっぱいになります。

玉堤分場様のイベントには、いつも参加させていただいております。

先日、チェンバロの演奏を皆様と聞かせていただき、すばらしいひと時を過ごしてまいりました。

今は、泉会様の一員として、微力ながら頑張っております所存でございます。

どうぞ、よろしくご指導の程、お願い申し上げます。

＜紹介＞

新井様は、私共玉堤分場と玉堤町会を通じて知り合いました。玉堤分場のことを最も理解されているお一人であり、ご近所でもあります。

2010年7月、お忙しい中にもかかわらず、泉会の評議員就任を快諾していただきました。新井様は、頻繁にボランティアとして玉堤分場の活動に参加していただいております。

発行所 障害者団体定期刊行物協会 領価五十円
東京都世田谷区砧六の二六の二二
編集人 社会福祉法人 泉会

『プース・カフェ』 泉の家

営業時間…月曜日～金曜日 ※臨時休業する場合があります
11:00～15:00



◇メニュー

- ・コーヒー ICE HOT……………250円
- ・紅茶 ICE HOT……………250円
- ・ジュース りんご オレンジ……………250円
- ・ソフトクリーム……………250円
- ・チョコサンデー……………300円
- ・ブルーベリーサンデー……………300円
- ・ケーキセット(ドリンク類・ケーキ)…600円

他

ソフトクリーム 割引券

ソフトクリーム100円
割引いたします。
切り取ってお持ちください。

2009年度 事業報告

2009年度 収支計算書

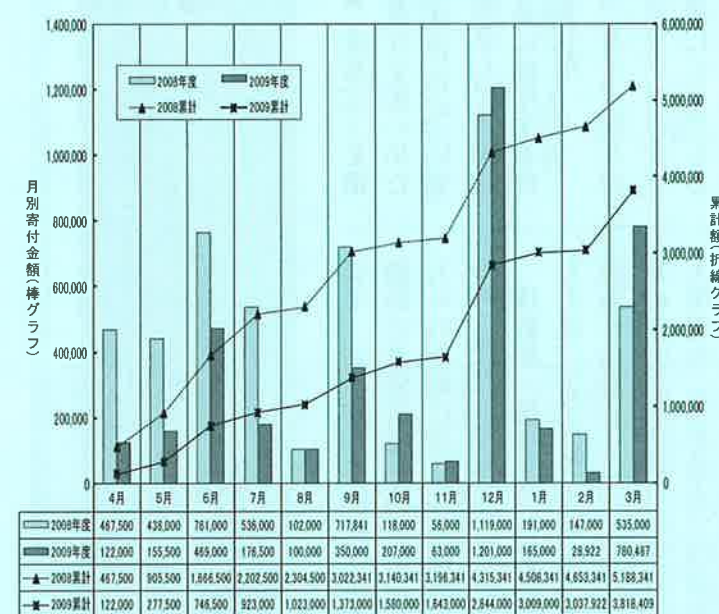
	予算	決算	増減
収入の部			
友の会費	4,600,000	3,818,409	-781,591
チャリティーコンサート収入	0	241,513	241,513
銀行利息	600	338	-262
当期収入合計(A)	4,600,600	4,060,260	-540,340
前期繰越金	400,000	413,254	13,254
収入合計(B)	5,000,600	4,473,514	-527,086
支出の部			
社会福祉法人泉会へ寄付	4,000,000	3,200,000	-800,000
振り込み手数料	70,000	59,320	-10,680
振替用紙印字サービス	0	0	0
事務備品	20,000	5,670	-14,330
消耗品費	5,000	241	-4,759
事務局手当	480,000	480,000	0
交通費	30,000	24,000	-6,000
会議費	10,000	0	-10,000
通信費	5,000	0	-5,000
税金	5	0	-5
チャリティーコンサート経費	0	84,633	84,633
予備費	380,595	6,000	-374,595
当期支出合計(C)	5,000,600	3,859,864	-1,140,736
当期収支差額(A)-(C)	-400,000	200,396	600,396
次期繰越金(B)-(C)	0	613,650	613,650

注:予備費6,000円は家族会費が友の会口座に振り込まれたための払い戻し金。

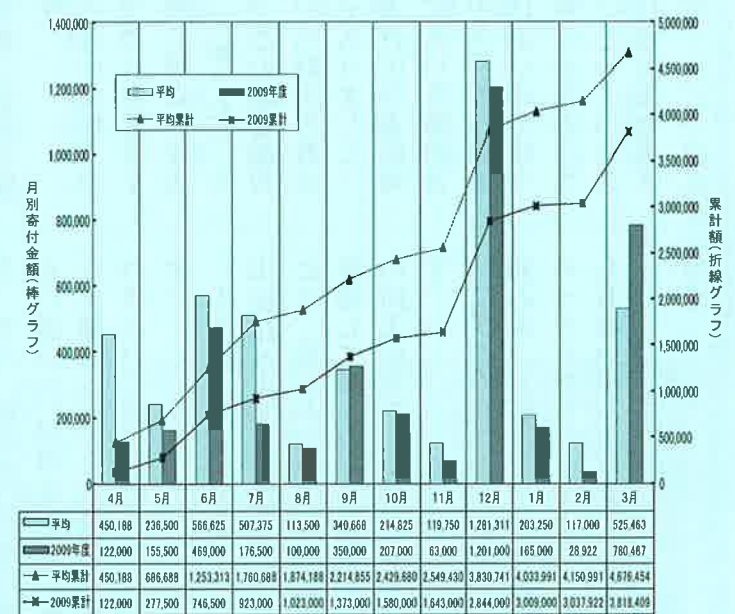
次期繰越金内訳	(郵便局当座)	424,276円
	(銀行普通 西武信金)	185,374円
	(現金)	4,000円

いずみNo.156 (2010年3月) …寄付芳名録

2009年度寄付金実績（昨年との比較）



2009年度寄付金実績（平均との比較）



事務局から提出された「いずみ

ス・カフェ」もオープンしております。新しく生まれ変わった泉の家にお出かけ下さり、現場でのふれあいによって、いっそうのご理解を頂き、今後ともご支援の程、よろしくお願い申し上げます。



を持つことが必要」という師の言葉に従い求道生活を始めた彼女は、自らの志を神にぶつけて問う葛藤の後、今まで気づかなかった全く新しい、自分にとっての社会

「泉会」草創の源流に発するこの
初心を、これからも受け継いで
いつてくださいますよう、私から
もお願い申し上げます。